

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】保育実習Ⅱ事前事後指導		
担当者(Instructors)	鈴木 順子, 後藤 永子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

実習では、養成校での学びを実践してみるとともに、その経験によって自らの課題を明らかにすることが重要な目的となる。また、実習が養成校での学びと現場との接点であることにも留意しつつ、実習を行うにあたっての対外的な手続きも必要とされる。そこで本授業では、実習に必要な事務作業の遂行、保育者としての応用能力を養っていくことにする。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	実技形式とディスカッション・グループワークを導入する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	事前訪問に向けた手続きと準備	事前訪問の目的を学び、事前準備の重要性を理解する	<input type="checkbox"/>
第2回	実習事前スケジュールの作成	実習目標を踏まえ、事前訪問で得た情報を参考にして、各自、実習事前スケジュールを立てる	<input type="checkbox"/>
第3回	実習事前学習(1)：子ども理解	担当年次の発達について理解を深める	<input type="checkbox"/>
第4回	実習事前学習(2)：子どもへのかかわり方・保育者の援助	担当年次のデイリープログラムを参考に、子どもの姿と保育者の援助について考える	<input type="checkbox"/>
第5回	実習事前学習(3)：保育内容と指導案作成①	子どもの育ちやを踏まえ、どのような保育内容が相応しいのか考え、指導計画を立案する	<input type="checkbox"/>
第6回	実習事前学習(4)：保育内容と指導案作成②	子どもの育ちや園の方針を踏まえ、どのような保育内容が相応しいのか考え、指導計画を立案する	<input type="checkbox"/>
第7回	実習事前学習(5)：表現技術の充実①	保育現場で使う遊びのレパトリーを考え、実践・評価(する・される)を通して、保育技術の充実を図る	<input type="checkbox"/>
第8回	実習事前学習(6)：表現技術の充実②	保育現場で使う保育教材を作成し、実践・評価(する・される)を通して、保育技術の充実を図る	<input type="checkbox"/>
第9回	実習直前指導	保育実習の目的(①施設の理解、②子ども理解、③保育者理解)を再確認し、学ぶ姿勢を高める	<input type="checkbox"/>
第10回	事後指導(1)：自己評価	自己評価を通して、PDCAサイクルに基づく学習モデルを意識する	<input type="checkbox"/>
第11回	事後指導(2)：実習施設における評価	自己評価を踏まえて実習施設の評価を受け、自己課題を見出す	<input type="checkbox"/>
第12回	事後指導(3)：実習記録に基づく自己評価(一日の流れ)	日々の実践記録から、自身の記録内容に有効な変化が表れているか振り返る	<input type="checkbox"/>
第13回	事後指導(4)：実習記録に基づく自己評価(子ども理解)	日々の実践記録から、子どもの行動に関する記述に有効な変化が表れているか振り返る	<input type="checkbox"/>
第14回	事後指導(5)：実習記録に基づく自己評価(保育士の援助理解)	日々の実践記録から、保育士の活動に関する記述に有効な変化が表れているか振り返る	<input type="checkbox"/>
第15回	保育実習Ⅱの総括	事後指導における振り返りから自己課題を明確にして、実習報告書を作成する	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習は、テキストの該当箇所を2時間程度、熟読することを課す 事後学習は、学習内容を整理して、課題をまとめておくことに2時間程度課す

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

回収した課題は添削後、返却する

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018子ども発達DP1	保育実習の意義・目的を理解して、保育を総合的に学ぶ。教科内容を意識した保育実践が行える。観察や記録から、自らの保育実践における改善点を見出すことができる。
	◇ 2018子ども発達DP2	保育士業務、職業倫理を実践に結びつける。

**■成績評価(Evaluation method)**

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

授業内課題 (30) 提出物の提出状況 (20) 実習報告書 (10)  
 対面授業に出席することより、オンデマンドの場合は、課題提出により出席とする。

**■テキスト(Textbooks)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	田中まさ子編 「三訂 幼稚園保育所実習ハンドブック」 みらい	
2		
3		
4		
5		

**■参考図書(references books)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて随時、配布する	
2		
3		
4		
5		